



FC東京

「笑顔をつなぐ、未来へのパス」東京のインクルーシブアクション 1/2

「笑顔をつなぐ、未来へのパス」東京のインクルーシブアクション 5年間継続しているインクルーシブフットボール。2025年には149人が一緒にボールを追い、SROI(社会的投資収益率)調査で4.69倍の社会的価値が生まれました。この取り組みを基盤に、様々なインクルーシブアクションが広がっています。それは「笑顔をつなぐ、未来へのパス」そのもの。こうしたインクルーシブな土壌に、海外からの来場者への受け入れ体制が整い、52の国と地域から1万人以上がスタジアムに訪れました。FC東京は、スタジアムと地域から、「もっとあたたかいサポートに包まれる街に」。誰もが安心して暮らせるインクルーシブな社会を築いていきます。



活動場所 味の素スタジアム、AGFフィールドなど



協働者

行政、企業、住民、学生、NPO、ファン・サポーター、スタジアム、民間団体、選手、一般社団法人、ボランティア

協働者名

株式会社東京スタジアム、認定NPO法人トラッソス、サインフットボールしながわ、多摩少年院、東久留米市シルバー人材センター、FC東京スポーツボランティア、TOKYO SOCIAL COLLABORATION など

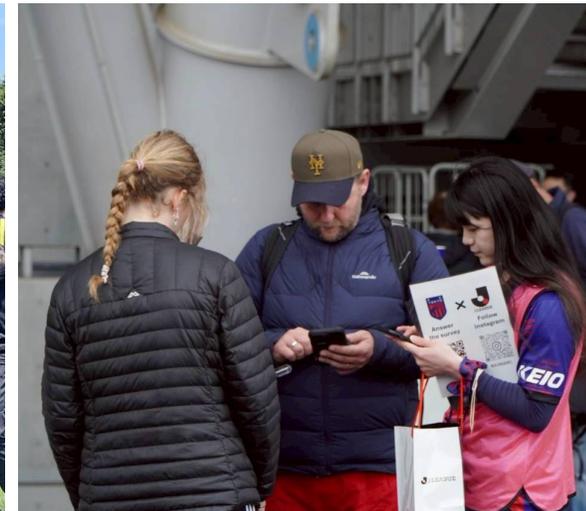


協働者の声

FC東京スポーツボランティア 代表/吉田 英樹 氏



年齢も国籍も背景も違うけれど、同じフィールドで交わる笑顔があります。その瞬間に立ち会えることが、私たちの原動力です。ボランティアとして関わる中で、インクルーシブな空間を共に築けているという誇りと喜びを感じます。「笑顔をつなぐ、未来へのパス」。私たちはこれからもその一翼を担っていきます。



活動詳細情報

- 1 [公式サイト①](#)
- 2 [公式サイト②](#)
- 3 [公式X①](#)
- 4 [トラッソス公式X](#)
- 5 [公式X②](#)



カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ





FC東京

「笑顔をつなぐ、未来へのパス」東京のインクルーシブアクション 2/2

Story

FC東京は、「わたしたちのくらしの未来につながるゴールを。」というソーシャルステートメントのもと、誰ひとり取り残さない“もっとあたたかいサポートに包まれる街に”を目指し、日々の活動に取り組んでいます。インクルーシブとは、単に違いを受け入れるだけでなく、すべての人がその個性を生かし、共に価値を創り出す状態を指します。これは、ダイバーシティ(多様性)を尊重しつつ、誰もが居場所と役割を持てる環境をつくるという考え方です。

その象徴的な取り組みが「インクルーシブフットボール」。障がいの有無や年齢、立場を越えて149名が一緒にボールを追い、互いの違いを認め合いながらプレーする光景は、“誰もが主役になれる”場でした。「受け入れてもらえて嬉しい」「元気になる」



という参加者の声は、活動が育む“共感”を物語っています。この活動は5年目を迎え、2年連続でSROI(社会的投資収益率)調査も実施。4.69倍の社会的価値を定量的に示す成果にもつながりました。これは、スポーツの社会的意義が地域や個人の生活に確かな価値を生むことを示しています。

この活動を基盤に、様々な特性を持つ方々との「インクルーシブゴミ拾い」、食の選択や支援を広げる「インクルーシブフード」の啓発、「やさしい日本語」啓発、感覚過敏のある方々などが安心して観戦する「センサリールーム」設置など、多様な人々が安心して関われる機会を生み出しました。さらにタイと日本の聾者による国境と言語を超えた交流プログラム、多世代で挑戦した「あおあかドリル」など、年齢・言語・文化の違いを越えて“つながる体験”にも取り組みました。

また多摩少年院との「HIGH HOPEプログラム」では、少年たちが社会との接点を持ち、自らの想いを込めたトートバッグをデザイン・制作。「人を困らせてきた自分でも、誰かを助ける側になれる」との少年の言葉に、人がつながり合う希望が込められました。インクルーシブとは、ただ“排除しない”ことではなく、あらゆる違いを認め合い、共に未来をつくること。その実現に向けて、クラブ全体で一歩ずつ行動を積み重ねています。



また、ダイバーシティの観点では、スタジアムに52の国と地域から1万人を超える方々が来場しました。HPの多言語化や語学対応ボランティア、海外インターン生の受け入れを通じて、文化や言葉の壁を越えた“つながる場”をスタジアムに創出。「言葉が不安だったけど助けてもらえて安心した」との声も届いています。

こうした全ての現場の最前線には、FC東京スポーツボランティアの温かな協力が、活動の価値を支える力になっています。

笑顔がつながり、優しいパスが未来へと広がっていく。それは、違いを認め合い、誰もが尊重され共に生きる社会へと歩むFC東京の確かな一歩です。これからも、スタジアムと地域から、誰もが関われるインクルーシブな未来を共につくっていきます。